

和書門  
廿九

和書

太政官文庫			
三	一	九	五
五	八	三	二
冊	架	函	號
			類
			和書門

内閣文庫			
三	一	九	五
二	函	一	架
			冊
			號
			類
			和書

内閣文庫		
番號	和	31951
冊數	54	(29)
函號	202	352

共五十四



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり



御筆

一 治政に及ぶるは世に希なり

一 皇朝の隆衰は人心に在り

一 臣等所望

一 世に及ぶるは世に希なり

一 皇朝の隆衰は人心に在り





のくに河内なるぬきとありていふそよふにじ半りとかあ

方所のし移りと共なりけりあもたすたすそよふにけり

のりそよふにけりあもたすたすそよふにけり

のりそよふにけりあもたすたすそよふにけり

のりそよふにけりあもたすたすそよふにけり

のりそよふにけりあもたすたすそよふにけり

のりそよふにけりあもたすたすそよふにけり

のりそよふにけりあもたすたすそよふにけり

のりそよふにけりあもたすたすそよふにけり

のりそよふにけりあもたすたすそよふにけり















































おめりうー何と云ふまひくはびしむもたえん  
しんくまらおのしうわさくよひうまあしん  
てしんわさく貴のまひのめいおのめりし  
何と云ふしんふし貴はくうしてせんあま  
し貴はぬよあてりるは君より侍とあま  
何と云ふしうり孫はぬものくしうたうし  
たきさうり孫ふ物し孫りあま何と云ひて侍  
ま（御注）しんよひしんらまわうし大馬といふよ  
何りまひしうちあま何と云ひまはくしん  
あましんしんまけくしんしんあま

あましんくしんはん孫りよ六条殿いさ  
まはわちんはんまはくしんあま  
まはにわは君しん侍くたしん物あしん  
しんぬり孫のあましんふし貴はく孫い  
あまのぬよあましんてしんは孫はり  
何と云ふしん物きしんけりあましん  
あま（御注）大納言まはあましんてしんは  
しんぬりあましん物しん孫しんわ  
何と云ふしん侍しんたしんあま  
しん人由良殿中お侍官のしん







めくめん何いともたんとほりあかしくいふよ  
いあかきいともめんしひかりたるといふ  
といふまはうい物色いひひかりとらうい  
あかきいともめんあかきいともめんあか  
といふいひあかきい物い物い物い物い  
めんうういひあかきい物い物い物い物  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ

いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ  
いひあかきいひあかきいひあかきいひ











新い香のさくら花のしんもまのいふまゝのさくらついでに  
いふにゆりさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたににまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくら  
あつた物さくらついでにまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくら  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに

うろ口さくらついでにまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくら  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに  
あつたまのいふまゝのさくらついでにまのいふまゝのさくらついでに







三つうちをさるけりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり  
つりつりあふりつらんじつにたあふりつり

そまひつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり

未  
わつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり

あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり  
あひつりつらあひせむいんよあひつりつり











何れもたれも... 中交... とうく... 一... かくも... 人... と... 物... 何れも... かくも... 人... と... 物... 何れも... かくも... 人... と... 物...

かくも... 人... と... 物... 何れも... かくも... 人... と... 物... 何れも... かくも... 人... と... 物... 何れも... かくも... 人... と... 物... 何れも... かくも... 人... と... 物...







いづれめいおどくふりかめとつ孫りけしちちてきて  
たさ中へりめいぬ人のまほまかりなり中  
たさ中へりぬくおいより孫りじく孫りか  
うさなり孫りくお人のえたてりまきなり  
ぬちめいこくおあつぬよわりたさてん  
おんせ孫りぬくおいより孫りじく孫りか  
い孫りなり中おのくいより孫りてん  
まわりなりとまわりなり物孫りなり  
おんせ孫りぬくおいより孫りじく孫りか  
い孫りなり中おのくいより孫りてん  
まわりなりとまわりなり物孫りなり

お孫りなり中おのくいより孫りてん  
まわりなりとまわりなり物孫りなり  
おんせ孫りぬくおいより孫りじく孫りか  
い孫りなり中おのくいより孫りてん  
まわりなりとまわりなり物孫りなり  
おんせ孫りぬくおいより孫りじく孫りか  
い孫りなり中おのくいより孫りてん  
まわりなりとまわりなり物孫りなり  
おんせ孫りぬくおいより孫りじく孫りか  
い孫りなり中おのくいより孫りてん  
まわりなりとまわりなり物孫りなり









のいひありやいふまゝさういふやうくも所なきゆゑに  
 じひの身がたふさつといはれぬ所なりしをばつて  
 といふやうにせんといふとさういふやうに  
 といふていふとわたりぬよとさういふやうに  
 甘けりあつていふやうに物いふよとさういふやうに  
 なるといふやうに女御といふやうにさういふやうに  
 といふといふといふやうに物いふといふやうに  
 といふといふといふやうに物いふといふやうに  
 といふといふといふやうに物いふといふやうに  
 といふといふといふやうに物いふといふやうに

八  
 七  
 六  
 五  
 四  
 三  
 二  
 一







